

## 薬品製造化学分野

### A 欧文

#### A-a

1. Ishihara J, Tokuda O, Shiraishi K, Nishino Y, Takahashi K, Hatakeyama S: Synthetic study on clutiolide based on a remote chelation controlled Ireland-Claisen rearrangement. *Heterocycles* 80 (2): 1067-1079, 2010 (IF: 1.165)
2. Yoshino M, Eto K, Takahashi K, Ishihara J, Hatakeyama S, Ono Y, Sato H, Kubodera N: Synthesis of 20-epi-eldecalsitol [20-epi-1 $\alpha$ ,25-dihydroxy-2 $\beta$ -(3-hydroxypropoxy)vitamin D<sub>3</sub>: 20-epi-ED-71]. *Heterocycles* 81 (2): 381-394, 2010 (IF: 1.165)
3. Hatakeyama S, Yoshino M, Eto K, Takahashi K, Ishihara J, Ono Y, Saito H, Kubodera N: Synthesis and preliminary biological evaluation of 20-epi-eldecalsitol [20-epi-1 $\alpha$ ,25-dihydroxy-2 $\beta$ -(3-hydroxypropoxy)vitamin D<sub>3</sub>:20-epi-ED-71]. *J Steroid Biochem* 121: 25-28, 2010 (IF: 2.655)

### B 邦文

#### B-c

1. 高橋圭介, 畑山 範: インジウムトリフラートを触媒とする Conia-エン反応と生物活性アルカロイドの合成. *有機合成化学* 68 (9): 951-961, 2010 (IF: 0.574)

### 学会発表数

A - a	A - b		B - a	B - b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
1	0	4	2	0	13

### 社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
畑山 範・教授	九州支部長	日本薬学会
畑山 範・教授	化学系薬学部会副会長	日本薬学会
畑山 範・教授	第5期理事	薬学教育協議会
畑山 範・教授	共同研究推進委員会委員	物質・デバイス領域共同研究拠点
石原 淳・准教授	次世代を担う有機化学シンポジウム世話人	日本薬学会

### 競争的資金獲得状況(共同研究を含む)

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
畑山 範・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(A) 高効率な分子構築法に基づく細胞機能制御 活性創薬リード天然物の合成
畑山 範・教授	日本学術振興会	代表	挑戦的萌芽研究 触媒的不斉 Conia-ene 反応開発への挑戦
畑山 範・教授	文部科学省	代表	新学術領域研究 ワンポット連続反応を基盤とするグルタミン 酸受容体作用天然物の高効率合成
石原 淳・ 准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 特異な神経毒性を有する大環状アルカロイド、 スピロライドの合成
高橋圭介・助教	文部科学省	代表	若手研究(B) Conia-ene 型環化を鍵とする新規有機合成 戦略の確立

高橋圭介・助教	長崎大学	代表	大学高度化推進経費 Conia-ene 型環化を鍵段階とする創薬リード天然物の合成研究
高橋圭介・助教	薬学研究奨励財団	代表	研究助成金(グループ A) Conia-ene 型反応を鍵段階とする創薬リード生物活性天然物の革新的合成戦略